

## 取組点検指標を用いた取組確認結果（西三河地域）

## 1 背景

- ・水循環再生地域行動計画に定めた取組を着実に推進するため、各地域協議会に設置した行動計画フォローアップチームが中心となり、行動計画の進捗状況を点検・把握するために「取組点検指標」を平成20年度に取りまとめました。
- ・「取組点検指標」は「地域共通の取組」（下水道整備や雨水貯留・浸透施設の設置補助などの地域で広く実施されている基盤的な取組）と「流域別の取組」（地域住民による水源地と上下流交流、湿地の保全など地域に根ざした取組）が設定されています。
- ・「地域共通の取組」は水循環の4つの機能である「きれいな水」、「豊かな水」、「多様な生態系」、「ふれあう水辺」の項目で、「流域別の取組」は水循環再生に向けた取組テーマである「森づくり」、「郷づくり」、「まちづくり」、「川、里海づくり」の項目で設定されており、平成21年度から取組状況の確認を行っています。

## 2 平成24年度取組実績

- ・西三河地域水循環再生地域協議会構成員41団体が実施した68の取組（地域共通の取組20 流域別の取組48）について実績を把握しました。（集計結果は別表参照）
- ・地域共通の取組について、「きれいな水」の代表的な取り組みである、生活排水処理施設の整備（下水道整備、合併処理浄化槽の普及）が進んだことにより、汚水処理人口普及率が年々上昇しています。また、下水道施設の高度処理の導入も着実に進んでいます。
- ・流域別の取組について、合流式下水道の改善や調整池の整備、干潟の造成等のハード整備が着実に実施されています。また、矢勝川河川清掃や油ヶ淵浄化デー等の住民主体の清掃活動や、環境保全型農業の推進、「水のかんきょう楽校」等のイベントも継続的に実施されています。
- ・以上のことから、イベント等への参加数は増減があるものの、下水道整備等や調整池等のハード整備は着実に実施されており、水循環に関する取組は着実に推進されています。

項目		取組数	代表的な取組
地域共通の取組	きれいな水	10	
	豊かな水	3	○生活排水処理施設の整備 下水道の整備 H21 69.4% → H24 73.5%
	多様な生態系	5	合併処理浄化槽の基数割合 H21 25.3% → H24 29.7%
	ふれあう水辺	2	汚水処理人口普及率 H21 83.3% → H24 86.9%
			高度処理実施率 H21 69.4% → H24 73.2%
流域別の取組	矢作川等流域	22	○水源地の森林整備 間伐面積 H21年 322.19ha H22年 245.15ha H23年 283.74ha H24年度 263.44ha
	境川等流域	9	○調整池の整備(安城市) 整備容量 H21年 2,763㎡ H22年 2,288㎡ H23年 8,580㎡ H24年度 20,508㎡
	油ヶ淵等	11	○油ヶ淵等の清掃活動
	三河湾沿岸域(知多半島等)	6	のべ参加人数 H21年 3,380人 H22年 3,350人 H23年 3,050人 H24 4,032人 ごみの量 H21年 2,040kg H22年 1,300kg H23年 3,740kg H24 5,860kg

西三河地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めやす	指標とする取組 取組内容	指標とする項目				指標とする項目を 報告する機関	指標の説明
		平成21年度 下水道普及率(%)	平成22年度 下水道普及率(%)	平成23年度 下水道普及率(%)	平成24年度 下水道普及率(%)		
きれいな水	<p><b>下水道の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備及び適正な維持管理を推進する。</li> </ul> <p><b>農業集排水施設の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農村生活環境の改善並びに公共用水域等の水質保全のため、農業集排水施設の整備及び適正な維持管理を推進する。</li> </ul> <p><b>合併処理浄化槽の設置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。</li> </ul> <p><b>コミュニティプラントの整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境の改善、公共用水域の水質保全のためコミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。</li> </ul> <p><b>汚水処理の高度化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道や農業集排水処理施設等を整備するとともに、合併処理浄化槽の普及を図るなどにより生活排水対策を推進する。</li> </ul> <p><b>高度処理施設の導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共用水域の水質保全のため下水道施設の高度処理化を促進する。</li> </ul>	69.4%	70.9%	72.4%	73.5%	県下水道課	下水道普及率＝下水道処理人口/行政人口×100
		3.4%	3.4%	3.4%	3.3%	農業集排水処理人口普及率(%)	農業集排水処理人口/行政人口×100
		10.4%	10.4%	10.1%	9.9%	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	合併処理浄化槽処理人口普及率＝合併処理浄化槽処理人口/行政人口×100
		24%	26.7%	28.2%	29.7%	合併処理浄化槽の基礎割合(%)	合併処理浄化槽の基礎割合＝合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
		0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	コミュニティプラント処理人口普及率(%)	コミュニティプラント処理人口普及率＝コミュニティプラント処理人口/行政人口×100
		83.3%	84.8%	86.0%	86.9%	汚水処理人口普及率(%)	汚水処理人口普及率＝汚水処理人口/行政人口×100
		69.4%	70.9%	72.4%	73.2%	高度処理人口普及率(%)	高度処理実施率＝高度処理人口/行政人口×100
		4.7ha	8ha	3ha	0.5ha	干潟・塩田造成面積(ha)	干潟・塩田造成した面積
		96%	92%	96%	96%	河川BODの環境基準達成率(%)	河川BOD(西三河地域のみの)の環境基準達成率
		67%	33.3%	67%	67%	海域CODの環境基準達成率(%)	海域COD(衣浦湾のみ)の環境基準達成率
豊かな水	<p><b>水生生物調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。</li> </ul> <p><b>河川・海岸の清掃</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川・海岸の清掃を行う。</li> </ul> <p><b>森林の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水質かん養機能などの多面的機能を高度に発揮する森林の整備・保全等を推進する。</li> </ul> <p><b>雨水貯留・浸透施設の設置(浄化槽の転用を含む)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かん養機能向上のための雨水貯留浸透施設の設置を推進する。</li> </ul> <p><b>ため池の保全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多面的機能を持つため池の保全を推進する。</li> </ul>	82箇所	68箇所	53箇所	68団体	実施箇所数	水生生物調査の実施箇所数、のべ参加人数
		2,906人	2,508人	2,174人	2,882団体	実施箇所数	河川・海岸の清掃
		141回	186回	198回	619回	実施箇所数	森林の整備
		152箇所	159箇所	188箇所	341箇所	実施箇所数	雨水貯留・浸透施設の設置
		25,452人	30,801人	39,861人	81,768人	実施箇所数	ため池の保全
		1904.48ha	1,941.31ha	1,840ha	1,550.73ha	間伐面積(ha)	森林の整備
		206箇所	231箇所	163箇所	159箇所	実施箇所数	雨水貯留・浸透施設の設置
		340件	271件	286件	358件	実施箇所数	ため池の保全
		62箇所	52箇所	48箇所	48箇所	実施箇所数	ため池の保全
						実施箇所数	雨水貯留・浸透施設の設置

めざす姿	指標とする取組 取組内容	指標とする項目				指標とする項目を 報告する機関	指標の説明
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
		整備延長(km) 千島・浅湯温泉面積(ha) 実施箇所数 実施回数(回) のべ参加人数(人)	整備延長(km) 千島・浅湯温泉面積(ha) 実施箇所数 実施回数(回) のべ参加人数(人)	整備延長(km) 千島・浅湯温泉面積(ha) 実施箇所数 実施回数(回) のべ参加人数(人)	整備延長(km) 千島・浅湯温泉面積(ha) 実施箇所数 実施回数(回) のべ参加人数(人)		
多様な生態系	<b>多目蒸川づくり</b> ・ 河川全体の営みを視野に入れた地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。 <b>千島・浅湯の保全・再生(再緑)</b> ・ 多様な生態系の維持や水質浄化、景観の維持などの多面的な機能を持つ千島・浅湯の保全・再生を推進する。 <b>ため池の保全(再緑)</b> ・ 多面的機能を持つため池の保全を推進する。 <b>河川・海岸の清掃(再緑)</b> ・ 河川・海岸の清掃を行う。	105km	108km	109km		県河川課	県内全域での実績
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
ふれあう水辺	<b>水生物調査(再緑)</b> ・ 水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。 <b>多目蒸川づくり(再緑)</b> ・ 河川全体の営みを視野に入れた地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。 <b>河川・海岸の清掃(再緑)</b> ・ 河川・海岸の清掃を行う。	82箇所 のべ参加人数(人) 2,906人	68箇所 のべ参加人数(人) 2,508人	53箇所 のべ参加人数(人) 2,174人		県水地盤課	水生生物調査の実施箇所数、のべ参加人数
		多様な生態系参照	多様な生態系参照	多様な生態系参照	多様な生態系参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		
		きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照	きれいな水参照		

西三河地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	指標とする項目			
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
<b>矢作川等流域</b> 【課題】 ○間伐等の維持管理不足が山地崩壊、流水発生の原因のひとつと考えられる。 ○手入れ不足の人工林の増加が生物多様性にも影響を与えている。 ○ダムや堰などが多く設置され、連続性の分断や流況の変化による生物の生息環境に変化をもたらしている。 ○沿岸域の一角干涸は三河、澁の浄化のため、将来にわたって保全が必要である。	森づくり	<b>水源地域の森林整備</b> ・(財)矢作川水源基金の水源林対策事業に対し負担金を支出し、県と流域市町村が一体となって水源地域の森林整備及び作業路新設への助成を行う。 <b>おと川リバーヘッド大作戦</b> ・自然環境啓発イベントとして、森林の除間伐、枝打ち、植樹等を行う。 <b>豊田市100年森づくり構想</b> ・平成19年3月に「豊田市森づくり条例」を制定。 ・森林の施業方法等を示す「豊田市100年の森づくり構想」を策定する。 <b>自然環境基礎調査の実施</b> ・気候・気象、里山、植物、菌類、動物など自然環境に関する基礎的な調査。 <b>湿地の保全</b> ・湿地・湿原の保全整備を行う。 <b>湿地の保全</b> ・湿地・湿原の保全整備を行う。 <b>農業利水施設の環境整備</b> ・生態系、景観に配慮した農業水利施設、ため池、水路の整備。 ・「愛知県ため池保全構想」に基づいたため池保全の推進。 <b>水とみどりの森の取組</b> ・守り育てるべき「自然環境」と守り育てるための「地域活動」があり、市民が自然を学び、体験できる機会が提供され、交流が生まれる所を「森の駅」と位置づけ、森の駅(4箇所)、森の駅育成地区(5箇所)を指定し、各駅で環境保全活動、自然観察会等を開催する。	岡崎市、豊田市、刈谷市、羽島市、西尾市、岡崎市、豊田市、高浜市、みよし市、一色町、吉良町、幡豆町、豊田町、黒土地水資源課 (※報告機関:黒土地水資源課)	間伐面積(ha) 245.15ha 参加人数(人) 18人 間伐面積(ha) 1,404ha 調査実施の有否 有 保全活動回数(日) 24日 保全活動回数(日) 21日 保全箇所数 6箇所 整備箇所数 1箇所 参加人数(人) 1,356人 参加人数(人) 1,987人 参加人数(人) 2,541人 参加人数(人) 6,481人	間伐面積(ha) 283.74ha 参加人数(人) 43人 間伐面積(ha) 1,383ha 調査実施の有否 有 保全活動回数(日) 21日 保全箇所数 6箇所 整備箇所数 - 参加人数(人) 2,541人 参加人数(人) 6,481人	間伐面積(ha) 263.44ha 参加人数(人) 36人 間伐面積(ha) 1,112ha 調査実施の有否 有 保全活動回数(日) 21日 保全箇所数 6箇所 整備箇所数 - 参加人数(人) 6,481人	
	まちづくり	<b>合流式下水道の改善</b> ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。 <b>総合治水対策の推進</b> ・浸水被害の軽減を図るため、ため池の改修、貯留地の整備を行う。 <b>調整池の整備</b> ・計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。 <b>水田貯留施設の整備</b> ・流域全体の治水安全度を向上させるため、排水路に調整池を設置し、上流の水田の雨水貯留機能を増大させることで浸水被害の軽減を図る。	岡崎市	対策箇所数 - スクリーン数(箇所) 9箇所(累積) 整備延長(m) - 整備容量(m <sup>3</sup> ) - 整備容量(m <sup>3</sup> ) 1,874m <sup>3</sup>	対策箇所数 - スクリーン数(箇所) 12箇所(累積) 整備延長(m) - 整備容量(m <sup>3</sup> ) 2,013m <sup>3</sup>	対策箇所数 - スクリーン数(箇所) 24箇所(累計) 整備延長(m) - 整備容量(m <sup>3</sup> ) 8,624m <sup>3</sup>	
	平成24年度から追加				整備箇所数 1箇所		

【目標】  
 ☆上下流連携した森林整備、湖や池など自然環境の保全による流域一帯の川づくり  
 ☆山から海までをつなぐ鳥、カエル、チョウ、トンボなど、いろいろな種類の生物の移動ルートの確保  
 ☆総合学習の場として利用でき、荒廃地など親水空間の創生によって泳ぎたくなる良質な溪流・水辺環境  
 <中流>  
 ○水に入って遊びたくなる良好な水辺環境  
 <下流>  
 ○濁りや色が気にならない水辺に近づける場所がたくくんある  
 <干場>  
 ○アサリやワミニナなど生物が豊かな干場

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	指標とする項目			
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
矢作川等流域	里川・里海づくり	<b>干潟・浅場の造成</b> ・ 潟場生産力の回復、水質浄化機能の向上を図るため、干潟・浅場を造成する。 <b>矢作川水辺プラザ事業</b> ・ 岡崎市が矢作川沿いの大門河川緑地と大門公園、堤下公園を一体に整備し、国が堤防の幅幅と低水護岸整備等を行う。 <b>緩傾斜護岸の整備</b> ・ 堤防耐震化とともに、安全で人々が快適に水辺に近づけるよう堤防の緩傾斜化を図る。 <b>矢作川沿岸の水質保全</b> ・ 開発時に事業者と事前協議を行い、濁水流出の未然防止に努めている。 ・ 流域住民交流による水質保全活動を実施する。 ・ 工場排水、開発工事現場、廃棄物処分場などのハトロール	果水産課  岡崎市  西三河建設事務所  矢作川沿岸水質保全対策協議会  幸田町  流域市町、豊橋河川事務所、東水地環境課 (※報告機関:東水地環境課)  西尾市  明治用水土地改良区  岡崎市  岡崎市	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)	干潟・浅場造成面積(ha)
				4.7ha	4.2ha	3.1ha	1.5ha
				整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数
				1.67ha (果積)	1.67ha (果積)	1.67ha (果積)	1.67ha (果積)
				整備延長(m)	整備延長(m)	整備延長(m)	整備延長(m)
				850m	36m	36m	45.5m
				ハトロール回数	ハトロール回数	ハトロール回数	ハトロール回数
				131回	131回	131回	148回
				実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)
				4回	17回	27回	27回
実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数				
2箇所	13箇所	22箇所	22箇所				
のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)				
376人	1,924人	7,688人	7,789人				
実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数				
50箇所	46箇所	43箇所	43箇所				
のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)				
1,943人	1,679人	1,834人	1,963人				
実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)				
1回	1回	1回	2回				
参加者数(人)	参加者数(人)	参加者数(人)	参加者数(人)				
141人	208人	17人	99人				
啓発事業開催回数	啓発事業開催回数	啓発事業開催回数	啓発事業開催回数				
31回	29回	38回	18回				
啓発事業参加者数(人)	啓発事業参加者数(人)	啓発事業参加者数(人)	啓発事業参加者数(人)				
6,094人	6,276人	3,911人	1,201人				
連携団体数(団体)	連携団体数(団体)	連携団体数(団体)	連携団体数(団体)				
14団体	21団体	21団体	21団体				
参加団体数(団体)	参加団体数(団体)	参加団体数(団体)	参加団体数(団体)				
討論 4団体 参加団体 不明	18団体	18団体	15人(0団体)				
参加者数(人)	参加者数(人)	参加者数(人)	参加者数(人)				
3,894人	3,043人	2,467人	1,431人				
船遊び(乙川観光船事業)	・ 観光基本計画に基づき観光振興アクションプランの重点プロジェクトの1つとして「家康公のまち」魅力創造事業で特に岡崎公園・八帖蔵通り・大樹寺周辺を結びエリアを岡崎観光の各拠点となる重点地区として乙川を利用した新たな観光資源として観光船を浮かべ観光客の誘致を図る。	岡崎市	参加者数(人) 参加者数(人)	参加者数(人) 参加者数(人)			

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	指標とする項目			
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
<b>境川等流域</b> 【課題】 ○上流市2町(大府市、豊明市、真穂町、みよし市)は生活排水対策重点地域に指定されており、生活排水対策の推進が必要となっている。 ○ため池は多面的な機能も持つことから、その保全を図ることが必要である。 ○総合治水対策として、雨水貯留浸透施設の設置などが必要である。 ○河川周辺の水辺は生物の貴重な生息・生育域であり、水辺に親しむ場所でもあるので、自然環境の保全・再生が必要である。	森づくり	<b>水源涵養林育成事業</b> ・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。	愛知用水土地改良区	整備面積(ha) 0.3ha	整備面積(ha) 0.3ha	整備面積(ha) 0.3ha	整備面積(ha) 0.3ha
	郷づくり	<b>湿地の保全</b> ・湿地、湿原の保全整備を行う。 <b>ため池の保全</b> ・「蟬蛸の会」が、ため池付近の清掃、ビオトープ整備、緑化活動等を実施する。	刈谷市	除草作業実施回数(回) 3回	除草作業実施回数(回) 3回	除草作業実施回数(回) 3回	除草作業実施回数(回) 3回
	まちづくり	<b>合流式下水道の改善</b> ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。 <b>総合治水対策の推進</b> ・境川流域において、流域水害対策計画の策定を目指し総合治水対策を推進。 ・河道改修や、流域対策として雨水貯留浸透施設の整備、ため池の保全等。	大府市	ビオトープづくり	ビオトープづくり	ビオトープづくり	新池とその周辺の清掃
			刈谷市	ろ過スクリーンの設置数 7基	ろ過スクリーンの設置数 7基	ろ過スクリーンの設置数 3基	ろ過スクリーンの設置数 3基
			刈谷市	ろ過スクリーンの設置数 7箇所	ろ過スクリーンの設置数 9箇所	ろ過スクリーンの設置数 3箇所	ろ過スクリーンの設置数 3箇所
			刈谷市、豊田市、安城市、大府市、知立市、豊明市、みよし市、真郷町、真浦町、東河川課	浸透面積(ma) 1.2ha	浸透面積(ma) 事業終了	浸透面積(ma) 事業終了	浸透面積(ma) 事業終了
			知立建設事務所	浸透土量(m <sup>3</sup> ) 11,000m <sup>3</sup>	浸透土量(m <sup>3</sup> ) 事業終了	浸透土量(m <sup>3</sup> ) 事業終了	浸透土量(m <sup>3</sup> ) 事業終了
			安城市	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)
			東浦町	5回	8回	6回	10回
			流城市町、県水地盤環境課 〔※報告機関:県水地盤環境課〕	実施箇所数 18箇所	実施箇所数 17箇所	実施箇所数 14箇所	実施箇所数 17箇所
		・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	のべ参加人数(人) 724人	のべ参加人数(人) 696人	のべ参加人数(人) 593人	のべ参加人数(人) 273人	

【目標】  
 ☆多様な動植物が見られる河川環境  
 ☆保水・かん養や生物の住みやすい環境  
 <上流>  
 ○魚の姿がたくさん見える。  
 ○水が入って遊びたくなる水辺  
 ○濁りや色が気にならない。  
 <中・下流>  
 ○ヨシなど河川の植物が多く、在来種が多い。

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	指標とする項目			
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
油ヶ淵等 【課題】 ○流域の汚濁負荷量の約7割は生活系であり、生活排水対策を定めることが必要である。 ○油ヶ淵の流入河川は自流水が少なく、非灌漑期には河川湖沼での汚濁が卑られることから、地下水のかん養機能の回復も必要である。	郷づくり	環境保全型農業の推進 ・ 環境にやさしい農業を普及させるための試験研究や調査を実施する。 ・ 環境にやさしい農業に取り組む農家の活動を支援する。	県農業経営課	環境安全推進マニュアル導入(参加数) 20産地 エコファーマー認定数(人) 721人 整備容量(m <sup>3</sup> ) 2,763m <sup>3</sup> 学習会参加人数(人) 110人	環境安全推進マニュアル導入(参加数) 24産地 エコファーマー認定数(人) 719人 整備容量(m <sup>3</sup> ) 414m <sup>3</sup> 学習会参加人数(人) 60人	環境安全推進マニュアル導入(参加数) 25産地 エコファーマー認定数(人) 711人 整備容量(m <sup>3</sup> ) 6,567m <sup>3</sup> 学習会参加人数(人) 90人	環境安全推進マニュアル導入(参加数) 27産地 エコファーマー認定数(人) 707人 整備容量(m <sup>3</sup> ) 11,878m <sup>3</sup> 学習会参加人数(人) 67人
	まちづくり	調整池の整備 ・ 計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。 生活排水モデル地区事業 ・ 毎年、油ヶ淵流域の1町内会を生活排水モデル地区に指定し、生活排水に関する学習会及び水質浄化実施啓発用品を配布し、7月に実践活動を中心とした生活排水対策を実施する。 ・ アンケート調査、水質調査を実施し、実践活動の効果を確認する。 油ヶ淵水質浄化イベントの開催(アジアン油ヶ淵) ・ 油ヶ淵の水質浄化の取組発表や講演などを行い、油ヶ淵地域住民の方々の水質浄化への意識の高揚を図る。 水田貯留施設の設定 ・ 流域全体の治水安全度を向上させるため、排水路に調整池を設置し、上流の水田の雨水貯留機能を増大させることで浸水被害の軽減を図る。	安城市 安城市 碧南市、安城市、西尾市、高浜市、東水地盤環境課 (※報告機関:東水地盤環境課)	学習会参加人数(人) 110人 参加人数(人) 約400人	学習会参加人数(人) 60人 参加人数(人) 約400人	学習会参加人数(人) 90人 参加人数(人) 約400人	学習会参加人数(人) 67人 参加人数(人) 約350人
	里川・里海づくり	油ヶ淵の浄化対策 ・ 汚濁物質を除去することを目的とし、浄化施設を整備。 ・ 湖底のヘドロを覆砂により封じ込み、栄養塩類の流出を防止して水質の浄化を図る。 ・ 流入河川の水辺にヨシ等の水生植物を再生させ、水質の浄化を図る。(植生浄化) 油ヶ淵水辺公園の整備 ・ 天然湖沼で、広々とした水面を持つ油ヶ淵の特徴を生かし、周辺区域を含めて公園として整備。 ・ 環境学習の場の整備。 港湾環境整備事業 ・ 緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。 油ヶ淵周辺の清掃活動(油ヶ淵浄化デー) ・ 毎年7月第4日曜日に流域4市(碧南市、安城市、西尾市、高浜市)と流域住民が清掃活動を行う。 水生生物調査 ・ 水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。 油ヶ淵流域水環境モニタリング ・ 流域住民・県・市の連携協働による水環境モニタリングを実施する。	安城市 碧南市、安城市、西尾市、高浜市、東水地盤環境課 (※報告機関:東水地盤環境課) 流城市町、東水地盤環境課 (※報告機関:東水地盤環境課) 碧南市、安城市、西尾市、高浜市、東水地盤環境課 (※報告機関:東水地盤環境課)	参加人数(人) 約400人 参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人 参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人 参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約350人 参加人数(人) 約350人
				参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約350人
				参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約350人
				参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約350人
				参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約350人
				参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約350人
				参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約350人
				参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約400人	参加人数(人) 約350人

【目標】  
☆湖畔の散歩道において不快に感じなく、水辺で湖底が見られる。  
☆湖内全域で魚が生息できる。  
＜湖内＞  
○魚、鳥、カエルなど、いろいろな種類の生き物がたくさんいる。  
○透明度30cm以上、透明度1m以上  
＜流入河川＞  
○魚の姿がたくさん見える。  
○臭いや、濁りや色が気にならない。

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	指標とする項目			
				平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
三河湾沿岸域 (知多半島等)	森づくり	水源涵養林育成事業 ・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。 湿地の保全	愛知用水土地改良区	整備面積 (ha) 0.3ha 保全回数 (回) 24回 参加人数 (人) 240人	整備面積 (ha) 0.3ha 保全回数 (回) 24回 参加人数 (人) 240人	整備面積 (ha) 0.3ha 保全回数 (回) 24回 参加人数 (人) 240人	整備面積 (ha) 0.3ha 保全回数 (回) 24回 参加人数 (人) 168人
	郷づくり	—	阿久比町	—	—	—	—
	まちづくり	—	—	—	—	—	—
	里川・里海づくり	藻渚環境整備事業 ・緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。 矢勝川の河川清掃等	衣浦港務所	整備面積 (ha) — 実施回数 (回) 4回 (矢勝川の環境を守る会) 実施箇所 1箇所 107人	整備面積 (ha) — 実施回数 (回) 3回 (矢勝川の環境を守る会) 実施箇所 1箇所 108人	整備面積 (ha) — 実施回数 (回) 3回 (矢勝川の環境を守る会) 実施箇所 18箇所 240人	整備面積 (ha) 張芝1式 公衆便所1式 排水工1式 実施回数 (回) 3回
		平地川のゴミ調査等	半田市	実施回数 (回) 4回 実施箇所 5箇所 179人	実施回数 (回) 7回 実施箇所 5箇所 280人	実施回数 (回) 31回 実施箇所 22箇所 249人	実施回数 (回) 31回 実施箇所 19箇所 176人
		水生生物調査	半田市	実施箇所 8箇所 120人	実施箇所 4箇所 104人	実施箇所 4箇所 90人	実施箇所 4箇所 67人
		・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流城市町、県水地盤環境課 (※報告機関: 県水地盤環境課)				

【課題】  
○単調な河川環境が見られることから、自然に恵まれ、うるおいを感じることができる川づくりが必要となっている。  
○流域には多くのため池が見られるが、ため池は多面的機能を持つことから、その保全を図ることが必要である。  
○生活排水対策とともに、農地・畜産の環境保全対策も重要となっている。

【目標】  
☆水辺を散歩したい川  
☆生き物をはくむため池を守る  
○水辺の緑が豊かで、魚や昆虫などが見られる川  
○利水・治水を始め多面的機能を有するため池の保全